



2025年11月13日
第070号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

イーハトーブ

11月10日号

先日、日本郵便がバイクで配達中に交通事故を起こした配達員に対し、猛暑の中を自転車や徒歩で配達させていた事案が明らかになり、社員から「懲罰的だ」との声が上がっているとの新聞記事を目にした。

思い出されるのは、今年4月に20年が経過した福知山線脱線事故だ。乗客106名と運転士が死亡、562名が負傷したJR発足以降最悪の事故の背景には、ミスをした乗務員に対する懲罰的な「日勤教育」があったことが明らかになっている。運転士は事故を起こす直前にオーバーランをしていたが、「日勤教育」を恐れ車掌に過小報告するよう求めていた。

鉄道に限らず事故は様々な要因が複雑に絡まり合って起きる。重要なのは「人はエラーをする生き物」という視点に立ち、人間の行動特性から原因を究明することだ。「基本動作をやっていれば事故は起きない」「罰を与えれば事故を起こさなくなる」という単純なものではない。

にもかかわらず「懲罰」がなくならないのは、管理する側も「評価」を恐れ、力で統治する命令と服従の関係が企業内にはびこっているのではないだろうか。

社員の側もそこに加担しないためにも、事故を当事者の問題とせず、人間的な目線で声をあげなければならない。沈黙こそ黙認だからだ。

(W・Y)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行います。